

## 平成26年度事業計画（案）

旭・飯岡復興弁当研究会  
会長 渡邊義美

自 平成26年5月 1日  
室 平成27年4月30日

震災後、今も海岸では津波対策の防潮堤工事が行われ、海岸への出入りも制限されている為、海へ遊びに来る人も減り、観光客も以前に比べると随分少なくなりました。

私たちは、震災では大きな被害を受けましたが、生産者・加工業者・販売者等の有志で協働して旭の物産を使って、特産品弁当を作り、それを広く世間に知ってもらい、旭の知名度をアップし、興味を持って貰い、更に当地に訪れるきっかけに継ぎ、産業振興・観光にも一役立てたらと願い、日々活動しております。

25年度には、千葉県庁の農林水産部生産販売振興課の企画した ちばの「食」の逸品2014 で銅賞を受け、内容・パッケージ・味・ネーミング等で総合的に魅力ある商品として認めて貰う事ができました。

**26年度では、下記の事業に取り組む計画をしています。**

1. 新商品の仮称「浜のはまぐり弁当・九十九里はまぐりべんとう」の商品化
2. 「福幸弁当」の商標登録
3. 特産品のブランド化等を支援するプロの集まった農山漁村活性化支援人材バンクに講演や商品開発のデザイン等の指導を受ける。
4. 原材料商品化に向け、生産施設・設備を企画・調査し準備を始める。
5. 来年、オープンを予定されている旭の道の駅に福幸弁当が扱って貰えるように準備・申請する。
6. 各種イベントに更に積極的に参加する。
7. 年間販売目標を 3,000 個とする  
(平成25年7月～平成26年3月末迄 約1400個)